



2022年6月14日

株式会社 阿波銀行

南部建設株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、南部建設株式会社（代表取締役 坂本 優子、本社：徳島県美馬市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|--------------------------|
| 企業名 | 南部建設株式会社 |
| 所在地 | 徳島県美馬市穴吹町口山字宮内 130 番地の 1 |
| 代表者 | 坂本 優子 |
| 業種 | 土木工事業 |
| 設立 | 1984 年 11 月 8 日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の 3 側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年6月14日



南部建設株式会社 代表取締役 坂本 優子

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール | |
|-------|-----------------|--|---|----------|--|
| 社会・経済 | 多様な人材活用 | 性別、国籍、年齢、人種、出身、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。 | ①採用条件の見直し (適切な採用者男女比率、不適切な採用選考の撤廃) | | |
| | | | ②2030年までに65歳以上で退職された従業員の再雇用率80%以上 | | |
| 環境・経済 | グリーン購入 | 環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。 | ①(1)エコラベル商品の購入 (エコマーク、再生紙使用マーク) (2)環境負荷が低い原材料の調達 (リサイクル材、竹等の天然素材、植物由来のプラスチック等) | | |
| | | | ②(1)エコラベル商品購入率毎年50% (2)2025年までに導入率50% | | |
| 社会 | 社会・地域活動の情報発信の推進 | 地域社会の一員として、地域・社会への貢献活動を積極的に行い、地域の魅力を広く社内外にPRいたします。 | ①地域の新聞・広告媒体等で発信 | | |
| | | | ②年間1回発信 | | |
| 経済 | 経営理念・目標の発信、浸透 | 経営層が自社の事業方針について社員一人ひとりに浸透するよう、主体的に努めます。 | ①経営層による企業・経営理念に関する研修の実施 | | |
| | | | ②2024年までに実施 | | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。